

No.335  
2018  
6/1



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索



## 八地申 第26号 保線部門におけるメンテナンス体制の最適化に関する再説明申し入れ(その2)

### モニタリング装置について

- データの信頼度は申し分ない。EAST-iとデータの性質事態が違うが、信用できる。
- 材料モニタリングについては、八王子支社内では93%の現場との一致率があり、問題ない。しかし、受栓不良の箇所は実際の現場に行かないと判断が難しい。
- 画像が確認できるのは車両から記憶媒体を月に1回取り出し、モニタリングセンターへ郵送し、現場にて確認できるまでには一週間程度かかる。継ぎ目板折損や輸送障害などにつながりそうなものについては、すぐに連絡がくるので問題はない。
- 課題としてはビックデータを活用した予防保全体系の構築。
- 本使用になるまでは現行通りの巡視を各線で行う。
- 立川～西立川間は青梅短絡線を下り列車が通る頻度も多いので現行通りの巡視を行う。よって、開始デポから600mのデータ取得が出来ない区間のみという巡視の考え方はない。

### モニタリング装置故障時の取扱いについて

- 軌道変位モニタリングが故障した場合には列車巡視を代替として適用する。軌道変位データは取得できなくても動揺値や体感などで軌道状態を把握できる。
- 軌道材料モニタリングが故障した際は直近の全般巡視Bで代替していくが、故障してから2ヶ月以内に全般巡視Bが無い場合は追加して計画する。一ヶ月以上締結状態を確認しなくてもすぐに壊れるものではない。徐々に悪くなっていくので問題ない。
- 予備装置については東京支社保線課で管理している。予備装置保有数は全社で10台。車両センター等に配備する考えはない。

### モニタリング装置の教育指導について

- 教育資料については組合に提示する。
- システムの使用方法是マニュアル作成しており、改めて保線課が各職場に説明に行く。
- 推進リーダー会議の内容を職場で水平展開することは重要である。
- 引継ぎ検査における動的検収の具体的数値は軌道工事標準仕様書を変更中であり、7月1日から使用できるようにしていくが、すぐに今まで通りのやり方をやらないということではない。パートナー会社への周知する余裕を持たせて展開していく。

保線職場の仲間の声を基にやりがいのある  
安全第一の職場を創り出すぞ！